

自動車検査受検時の事故にご注意！

－ 安全・安心に利用できる自動車検査場とするために －

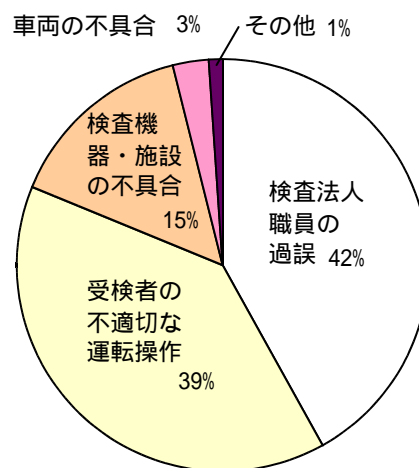
自動車検査場における受検中の検査機器や車両の損傷事故は、平成17年度に201件と、前年度より33件、20%増加しています。損傷事故の原因は、検査法人職員の過誤42%、受検者の不適切な運転操作39%、検査機器・施設の不具合15%、車両の不具合3%、その他1%です。なお、待機中や受検車同士の事故は含まれていません。

検査機器の損傷事故が発生すると、検査ラインを閉鎖しなければなりません。17年度は延べ1252時間と、前年度に比べて29%増加しました。特に、その約9割を占めるヘッドライト専用テストとの衝突事故は、修理に長期間を要し、検査ラインを4か月間閉鎖したこともあります。また、受検者に過失がある場合には、機器の修理費用（17年度支払最高額約300万円）を負担していただくことになります。

検査法人では、安全作業マニュアルによって業務を行っており、今後さらに職員に対して注意を促すとともに、より安全性の高い最新機器の導入など事故防止と安全対策に努めてまいります。検査法人は、「事故ゼロ」を目指していますが、そのためには、受検者の方々のご協力が不可欠ですので、受検の際には、**アクセルとブレーキを踏み間違えない、降車時にはギアを中立又は駐車位置とする、駐車ブレーキを確実にかける**、をお願いします。今後とも、事故防止にご協力をお願いします。



不適切な運転操作により、検査ラインをはずれてピット上で柱に衝突



受検時の事故原因

お問い合わせ 〒160-0003 東京都新宿区本塩町8-2住友生命四谷ビル
自動車検査法人本部 企画部調査課 千田、里
電話 03-5363-3441 (代表) 03-5363-3445 (直通)
<http://www.navi.go.jp/> E-mail: chousaka@navi.go.jp